



Cisco TelePresence TelePresence Server 7010

インストレーション ガイド

61-0028-06-J

2013 年 8 月

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

目次

一般情報	3
Cisco TelePresence Server 7010 の概要	3
パッケージの内容	3
ポートおよび LED の位置	3
LED の動作	4
前面パネルの LED の動作	4
背面パネルの LED の動作	4
TelePresence Server の接続	5
はじめる前に	5
タスク 1: 電源を接続する	5
タスク 2: イーサネット ポート A に接続する	5
TelePresence Server の設定	6
タスク 3: コンソール ポートに接続する	6
タスク 4: イーサネット ポート A を設定する	6
タスク 5: TelePresence Server に IP アドレスを割り当てる (任意)	6
タスク 6: TelePresence Server の IP アドレスを検出する	7
タスク 7: TelePresence Server にログインする	7
TelePresence Server ソフトウェアの設定	8
タスク 8: 設定、会議、エンドポイントを設定する	8
アップデートの確認	9
電源装置の交換	10
トラブルシューティングおよび技術サポートに関する情報	11
問題解決のためのイベント ログの使用	11
その他のヘルプの入手	11
技術仕様	12
電力要件	12
過電流保護	12
動作環境	12
静電気防止に関する注意事項	12

一般情報

Cisco TelePresence Server 7010 の概要

Cisco TelePresence Server 7010 (TelePresence Server) は、先進的な技術を採用したメディア プロセッサで、連続表示の高解像度ビデオ会議と非常に高い音声品質を実現しています。

パッケージの内容

TelePresence Server には次のアイテムが含まれています。デバイスを設置する前に、これらのアイテムが揃っていることを確認します。

- コンソール ケーブル
- 電源ケーブル
- ラックマウント キット

ポートおよび LED の位置

次の図に、ユニットの前面および背面の、ポートおよび LED の位置を示します。

図 1: TelePresence Server 7010 の前面パネル

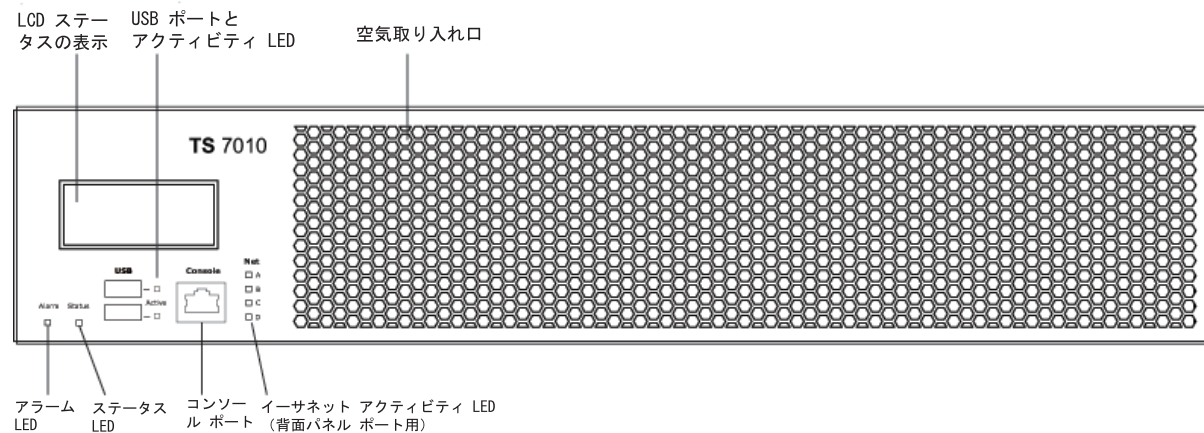
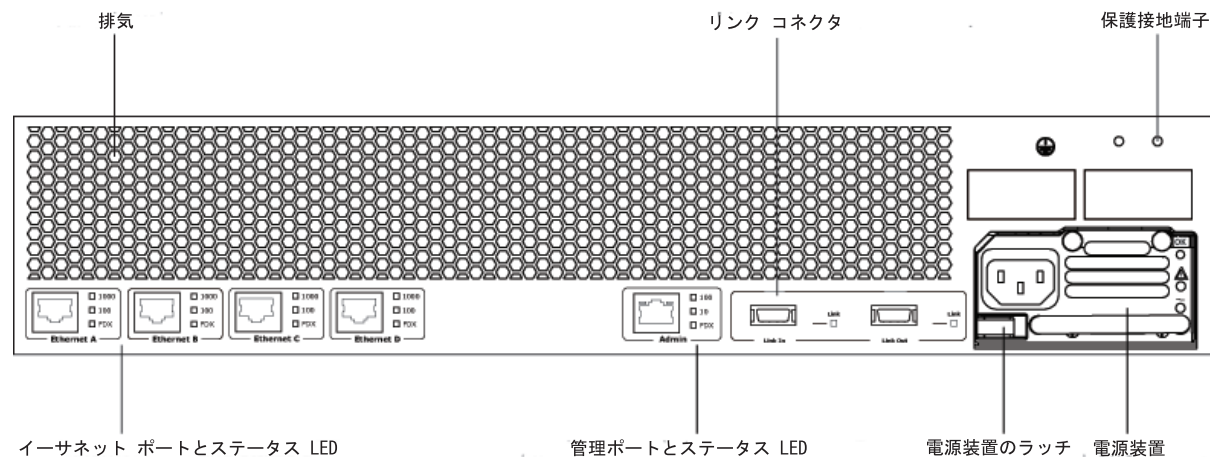


図 2: TelePresence Server 7010 の背面パネル



LED の動作

前面パネルの LED の動作

次の表で、TelePresence Server の前面にある LED の動作について説明します。

テーブル 1: TelePresence Server 7010 の前面パネルにある LED の動作

LED	色	意味
ステータス	緑	ユニットは正常に動作しています
アラーム	赤	ユニットが起動中、または、次のような障害が発生しています。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 温度が正常範囲外である ■ 内部ファンで障害が検出された 問題に関する詳細については、Web インターフェイスを参照(ユニットの設定ページに移動)
USB アクティビティ		将来の拡張用に予約済み
背面パネルのイーサネットのアクティビティ	緑	背面パネルのイーサネット ポート A、B、C、D のアクティビティ

背面パネルの LED の動作

次の表で、ユニットの背面にある LED の動作について説明します。

注: 前面パネルの LCD は、IP アドレスが割り当てられていることを示します。

テーブル 2: TelePresence Server 7010 の背面パネルにある LED の動作

LED	色	意味
イーサネット ポートのステータス:		
FDX	緑	リンクは全二重リンクで確立されています
100	緑	リンクは 100Mbps で実行されています。この LED が急速に点滅して、アクティビティを示します
1000	緑	リンクは 1000Mbps で実行されています。この LED が急速に点滅して、アクティビティを示します
管理ポートのアクティビティ		将来の拡張用に予約済み
リンク コネクタ		将来の拡張用に予約済み

TelePresence Server の接続

はじめる前に



重要 : TelePresence Server を設置する前に、<http://www.cisco.com/go/telepresence/safety> に掲載されている安全に関する情報をお読みください。

タスク 1: 電源を接続する

付属の電源ケーブルを使用して、ユニットの背面にある電源コネクタを電源に接続します。(オン/オフスイッチはありません)。

タスク 2: イーサネット ポート A に接続する

イーサネット ポート A からイーサネット スイッチにイーサネット ケーブルを接続します(ハブに接続するより、ネットワーク内の他のデバイスからの干渉が小さくなります)。イーサネット ポートは、10/100/1000 Mbps の自動感知接続です。



イーサネット ポート B、C、D は、TelePresence Server に付属のソフトウェアでサポートされていない場合があります。Web インターフェイスで設定できない場合はこれらのポートに接続しないでください。Web インターフェイスによって指示された場合を除き、同じサブネットに複数のポートを接続しないでください。

TelePresence Server の設定

タスク 3: コンソール ポートに接続する

1. TelePresence Server に電源が接続され、ステータス LED が緑に点灯していることを確認します。ユニットが起動中はステータス LED は点灯しません。
2. 付属の RJ45-DB9 ケーブルを使用して、お使いの PC のシリアル ポートとユニットのコンソール ポートを接続します。
3. Secure CRT や HyperTerminal などのシリアル ターミナル プログラムを使用して、ユニットに接続します。ターミナル ソフトウェアを次のように設定します。
 - ボー レート : 38400
 - データ ビット : 8
 - パリティ : なし
 - ストップ ビット : 1
 - フロー制御 : なし
4. Enter を押すと、次のコマンド プロンプトがターミナルに表示されます。
TS:>

タスク 4: イーサネット ポート A を設定する

TelePresence Server のイーサネット ポートのデフォルト設定は自動検出モードです。TelePresence Server を接続するスイッチ ポートも自動検出モードに設定されていない場合は、同じ速度とデュプレックス モードを使用するようにデバイスのイーサネット ポートを設定する必要があります。

注 : 1000 Mbps の接続を確立するには、リンクの両端を自動検出に設定する必要があります。

- イーサネット ポート A を設定するには、次のように入力して自動検出モードに設定します。
ethertype A auto
または、速度とデュプレックスを設定するには、次のコマンドを使用します。
ethertype A <10 | 100> <half | full>
たとえば、全二重、100 Mbps のリンクを設定するには、次のように入力します。
ethertype A 100 full
- イーサネット ポートの現在の設定およびステータスを表示するには、次のように入力します。
status

タスク 5: TelePresence Server に IP アドレスを割り当てる(任意)

TelePresence Server のデフォルト設定では、DHCP を使用して IP アドレスを取得するようになっていきます。希望する場合、または DHCP サーバが利用できない場合は、固定 IP アドレスを割り当てることができます。TelePresence Server の IP アドレスを DHCP サーバで割り当てる場合は、この手順は省略してください。



TelePresence Server は IPv4 および IPv6 のアドレッシングをサポートしています。ポート A のデフォルト設定は次のとおりです。

ポート A は DHCP を使って IPv4 アドレスを取得します。IPv6 はディセーブルです。

- ポート A に固定 IPv4 アドレスを割り当てるには、次のコマンドを使用します。
static A <IP address> <netmask> [<default gateway address>]

注 : DNS サーバがない場合は、DNS サーバの IP アドレスに **0.0.0.0** を指定します。

たとえば、192.168.1.2 というアドレスを割り当て、デフォルト ゲートウェイが 192.168.1.1 である場合には、次のように入力します。

static A 192.168.1.2 255.255.255.0 192.168.1.1 0.0.0.0

- DNS サーバを手動で指定するには、次のコマンドを使います。
`dns <DNS server address> [<secondary DNS server>][<domain>]`
- 固定 IPv4 アドレスを設定した後に DHCP を使用するように戻すには、次のコマンドを使います。
`dhcp -4 A`



固定 IPv6 アドレスの割り当てについては、`help static` と入力します。自動 IPv6 アドレスの割り当てについては、`help dhcp` と入力するか、オンライン ヘルプを参照してください。

タスク 6: TelePresence Server の IP アドレスを検出する

1. IP アドレスの現在のステータスを表示するには、次のように入力します。 `status`
ネットワークで DHCP を有効にしており、TelePresence Server が DHCP を使用してアドレスを取得できるように設定されている場合、イーサネット ポート A が取得した IP アドレスが表示されます。固定 IP アドレスを割り当てている場合は、そのアドレスが表示されます。
2. IP アドレスをメモします。ユニットの Web インターフェイスにアクセスする際に、このアドレスを使用します。

注: TelePresence Server に IP アドレスが割り当てられている場合は、DNS サーバに IP アドレスのエントリを追加することで、ホスト名を使用してデバイスの Web インターフェイスにアクセスできます。

注: 前面パネルの LCD は、IP アドレスが割り当てられていることを示します。

タスク 7: TelePresence Server にログインする

デバイスの Web インターフェイスにログインするには、次の手順を実行します。

1. ブラウザを使用して、ユニットの IP アドレスまたはホスト名にアクセスします。
2. ユーザ名 `admin` をパスワードなしで入力し、[Log In]をクリックします。
[Status]ページが表示されます。

注: パスワードを使用するように admin アカウントをできる限り早く変更することをお勧めします。パスワードを変更するには、[Configuration]> [Change Password] に移動し、新しいパスワードを 2 回入力します。

TelePresence Server ソフトウェアの設定

タスク 8: 設定、会議、エンドポイントを設定する

必要に応じてネットワークおよびシステム設定を設定し、その後、会議およびエンドポイントの追加を続行します。手順については、[オンライン ヘルプ](#)を参照してください。

アップデートの確認

シスコの Web サイトで、デバイスの主要なソフトウェアのアップデートがないか定期的にチェックすることをお勧めします。ここでは、Web インターフェイスを使用してデバイスをアップグレードする方法について説明します。

アップデートをチェックしてダウンロードするには、次の手順を実行します。

1. Web インターフェイスにログインし、[Status]> [Status] に移動します。
2. 現在インストールされているソフトウェアのバージョンをメモしておきます。
3. Web サイトのサポート セクションに移動し、最新のリリースが利用可能かどうか確認します。
4. 最新リリースが利用可能な場合、それをダウンロードしてローカルに保存します。

ソフトウェア アプリケーションをアップグレードするには、次の操作を実行します。

1. ダウンロードしたソフトウェア リリース ファイルを解凍します。
2. Web インターフェイスで、[Configuration]> [Upgrade] を選択します。
3. [Main software image]セクションで、[Browse]をクリックし、解凍したファイルの場所を指定します。
4. [Upload software image]をクリックします。
ブラウザがデバイスにファイルのアップロードを開始し、新しいブラウザ ウィンドウが開いてアップロードの進捗状況が表示されます。完了すると、ブラウザのウィンドウが更新され、ソフトウェアのアップグレードが完了したことが表示されます。
5. デバイスをシャット ダウンし、再起動するには、[Configuration]> [Shutdown] に移動します。

注： デバイスをシャット ダウンするとすべての参加者が切断されます。

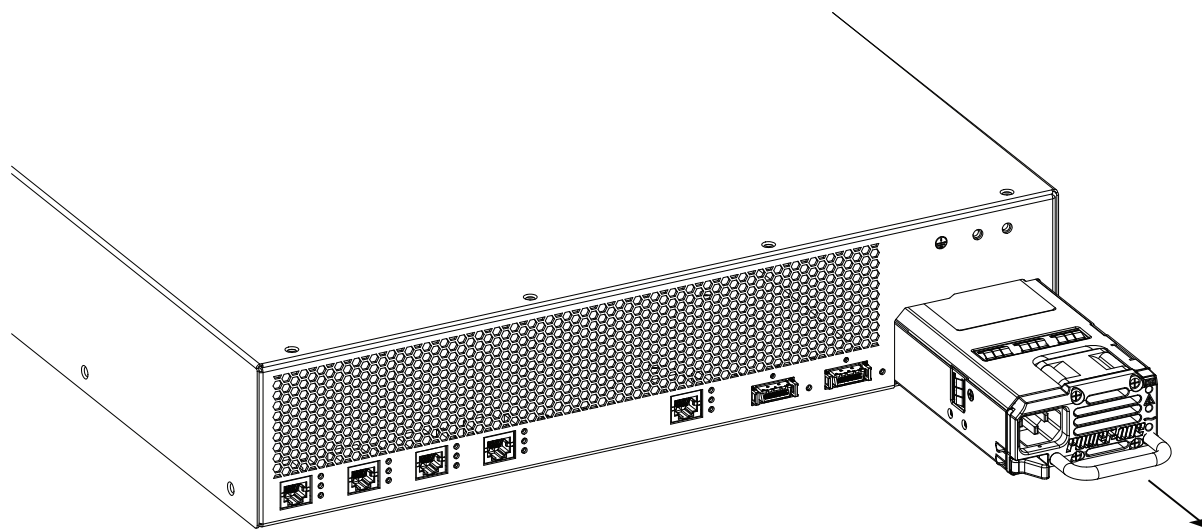
電源装置の交換

注意：電源装置を交換する際は、必ずシスコのカスタマー サポートの指示に従ってください。

TelePresence Server を受領する際に、電源装置が取り付けられます。電源装置を交換するには、次の手順を実行します。

1. ユニットから電源コードを抜き、電源を切断します。
2. 電源装置のラッチを右に押して、ハンドルをしっかりと持ちます。電源装置を引き出して取り外します。
3. ラッチが左下になるように、交換用の電源装置を挿入します。
4. ラッチがはまるまでユニットに電源装置をしっかりと押し込みます。
5. 電源コードを再接続します。

図 3: 電源装置の交換



トラブルシューティングおよび技術サポートに関する情報

問題解決のためのイベント ログの使用

イベント ログを使用してデバッグ情報を生成し、あらゆる問題解決において技術サポートを支援することができます。イベント ログのキャプチャ フィルターのトピックは、デフォルトで [Errors, warnings and information] に設定されています。テクニカル サポートからの指示がない限り、キャプチャ フィルターのトピックのレベルを変更しないでください。

その他のヘルプの入手

TelePresence Server の設定または使用に際して問題が発生した場合は、ユーザ インターフェイスから利用できるオンライン ヘルプを参照してください。

必要な情報がマニュアルで得られなかった場合

は、<http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html> の Web サイトを参照してください。このサイトでは、次のことが可能です。

- 最新のソフトウェアを実行していることを確認できます。
- シスコ テクニカル サポート チームから支援が得られます。

問題を報告する前に、次の情報を揃えるようにしてください。

- 製品の識別情報 (必要に応じてモデル番号、ファームウェア バージョン、ソフトウェア バージョンなど)
- お客様の連絡先となる電子メール アドレスまたは電話番号
- 問題の詳しい説明

販売終了のためサポートされない可能性のある Cisco TelePresence 製品のリストを表示するには、http://www.cisco.com/en/US/products/prod_end_of_life.html にアクセスし、「TelePresence」セクションまで下にスクロールしてください。

技術仕様

電力要件

テーブル 3: TelePresence Server の定格

定格	値
定格電流	最大 9 A
供給電圧範囲	100 ~ 240 V 50/60 Hz

過電流保護

このユニットへの電源の供給が、最大 20A の定格を持つ分岐回路保護装置によって保護されていることを確認します。

注意： 過電流装置は、該当する国および地域の電気安全基準を満たし、想定される用途に対して承認されたものである必要があります。

動作環境

ユニットは、以下の環境条件でのみ使用するようになっています。

テーブル 4: 動作環境

環境	温度	湿度
動作環境	0 ~ 35° C	10 ~ 95% (結露しないこと)
非動作時の環境	-10 ~ 60° C	10 ~ 95% (結露しないこと)
最適動作環境	21 ~ 23° C	45 ~ 50% (結露しないこと)

静電気防止に関する注意事項

保守作業を行ったり、部品や接続部を取り外したりする際は、まず適切なアース位置に静電気防止用リストストラップを取り付けてください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at www.cisco.com/go/trademarks. その他の商標はそれぞれの権利者の財産です。The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.